

学校関係者評価報告書

I 重点目標について

平成 29 年度重点目標
本校の教育目標の達成を実践するべく、教員の人間力・技術力・授業力などを把握、ブラッシュアップして業界に求められる人材を教育、育成する。また、より良い教育環境をつくり、より多くの学生が自己の目標を達成出来るよう学級運営を充実させる。
達成計画・取組方法
1 技術の勉強会や、授業研究などを用い向上を図る 2 授業評価制度や専門技術の確認システムを有効に推進する 3 最新の業界に関する情報を教職員で共有し学生へと伝える 4 HP 等で活動内容を公開していく 5 ハイパーQU を導入し、学生一人一人の心理状態を把握する
学校関係者評価
全体として適切に対応している。その中で教育活動と学生支援についてほぼ適切に対応しているが、ソフト面で選ばれる学校となるための教員の資質向上に向けた取組みを期待する。

II 各評価項目について

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

自己評価	学校関係者評価	改善方策
本校の理念・目的・育成人材像については、わかりやすく、具体的に示しており、学生・教職員にもよく周知徹底されている。学外への公表は、主に学校案内パンフレット・ホームページで行っているが、大変好評であり、今後もコンテンツの充実を図っていく。 『礼儀・責任・融和』を身につけられる環境づくりを続けていく。	適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。	業界が求める人材像、時代に合った人材像をキャッチし、カリキュラムの見直し、実現性を的確に行っていく。 また、必要に応じて教員の技術は勿論、業界の現状の知識のレベルアップを計っていく。 教職員が『礼儀・責任・融和』を念頭に学校生活をサポートする。

基準2 学校運営

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>学校の目的は基準1で示したとおり明確に定められ、学校運営方針も校長を長とする課長級以上の教職員で構成する幹部会で策定されている。意思疎通を図るため毎朝会合を行っている。決定事項については議事録などの文書でなく口頭による伝達が主となっている。</p> <p>事業計画のうち、財務に関しては策定されている。</p> <p>運営組織図は明確に定められている。意思決定機能は、幹部会が掌握しており効率的に意思決定がなされている。意思決定システムは確立されているので、今後組織規程等で明示されることが望ましい。</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度は整備され、職員のやる気や能力を適切に評価する体制ができている。評価シートや評価結果の一覧表などのフォーマットは完成している。</p> <p>教務に関する業務効率化を図る情報システム化は整備されている。また、教職員の業務効率化のため、ほぼ1人1台のパソコンが配置されている。しかし、サーバーの老朽化やパソコンの劣化が進んでおり、一部のシステムに更新が必要なものがある。また、学生募集に関するデータは管理されており、業務効率化は改善されてきている。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>詳細な事案に対応する諸規定の見直しをする。</p> <p>また、校内設備について、パソコン等の機器の更新、導入のみならず、ITを利用した、情報システムの構築や業務効率化も検討していく。</p>

基準3 教育活動

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>国家試験課題と現場に望まれる技術とのバランスを考えて、カリキュラムを作成している。</p> <p>美容室の割合に対しての人材確保ができていないのが、今現在の美容界の状況である。シャンプー、カラーなどアシスタント時の業務に役立つようなカリキュラム作りを行い1日も早く技術者として活躍できるよう考えている。</p> <p>国家試験課題は、特に学科の苦戦が予想されるため1年時より定期的にマークシートを使い国家試験と同じ条件で模擬試験など行っている。これによりマークシートの記入ミスや、各個人が自分の苦手課題が何であるか明確になり、今後何をすべきかなど学生自身が分かるようになっている。</p> <p>今年度入学生より国家試験の学科に変更があった。十分考慮しながら対策にあたる。</p> <p>今後、非常勤講師などもしっかりとコミュニケーションをとり国家試験対策を行っていく。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>学生の学力・技術レベルに応じた授業を教務会議で検討する。</p> <p>外部講師からも意見を上げてもらい、積極的に授業に組み入れて行く。</p> <p>模擬試験の結果を踏まえてフォロー講習対象者を確定する。</p> <p>新たに国家試験科目となった教科に対し、常勤の教員が教員資格を有し国家試験対策に臨む。</p> <p>非常勤講師に対する授業評価の取り組みなど、授業の質の向上を図る。</p>

基準4 学習成果

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>毎年の資格取得者数を比較検討し、資格試験対策を行っている。試験に対する意識の低い学生に対しては放課後のフォローを実施している。</p> <p>目標達成と生徒指導の充実を図るため、毎日全職員で朝礼・終礼を行い、学生の状況を報告し合い、必要に応じて早めの情報収集と教育相談等にあたり必要な指導を行っている。</p> <p>社会的活躍やコンテスト入賞を目指し、今後の対策として入賞作品の研究をすると同時に計画的に練習をしていく。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>指導方法と正答率との関連性を調査する。</p> <p>同窓会や各学科教員の協力体制を強化し、常に新しい情報収集することを心がける。</p> <p>コンテスト等に出場する学生に対して特別講習を行っている。</p>

基準5 学生支援

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>就職支援に関する体制は整備されており、求人に関する最新情報の学生への伝達、説明会や面接の申し込み等の企業への連絡もスムーズに行われている。活動状況を就職課で把握している。</p> <p>学生相談に関しては担任、学年主任、部長等で連携を取りながら行っている。今後は留学生にも相談しやすい環境づくりをしていく。</p> <p>経済的な問題を抱える学生に対しては、奨学金の利用ができるよう取り計らっている。また希望者には分納にも応じている。</p> <p>学生の健康管理は学校として年1回の健康診断を行っている。ふだんより病気予防のための指導をクラスで行っている。</p> <p>課外活動として平成15年度から都立松澤病院内に出向き、意志疎通の弱い入院中の老人に対しエステ、ネイル等の美容の施術を行うボランティア活動を続けている。授業では学べない貴重な社会体験となっている。</p> <p>地方からの入学者に対しては親身に住居の相談にのり、学生寮・アパート等の紹介を行っている。</p> <p>出席状況に問題が生じた学生に関してはいち早く保護者への報告を行い、状況によっては、保護者との面談も行っている。</p> <p>校友会の活動としては年に1回イベントの開催を行っている。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>毎年、在学数をはるかに上回る求人がきている。就職する意志があれば就職できる現況であるが、選択肢が多く逆に選択に迷いの生じる学生が多くなっている。決めかねている学生には、就職課や担任である程度選択をしぼり、紹介していく。</p> <p>精神面に問題を抱えている学生が以前より増えている。保護者と連絡を取り合い情報の共有を心掛ける。</p> <p>奨学金を生活費に使い込んでしまい、学費の滞納をする学生がいる。事前に奨学金の目的、借りる上での規則をしっかりと理解させる。</p> <p>引き続きインフルエンザ予防接種の呼びかけやうがい、手洗いの声かけを行っていく。</p> <p>授業公開への出席を呼びかけ、授業や子供の学生生活を知ってもらうことで学校への信頼感を高める。</p> <p>卒業生への連絡がとれにくい現状がある。メールアドレスの把握等を徹底していく。卒業生が来校した際にはメールアドレスの確認を行っている。</p>

基準6 教育環境

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>充実した施設・設備に恵まれ、授業カリキュラムの中でも、実習室を最大限に活かすことが出来る工夫をしており、教育内容もレベルアップした。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>授業を行う上で、更に良い教育環境を整備していく。</p>

<p>サロン実習、海外研修旅行、ワセビ留学支援プログラム、国内研修等多くの研修を行える環境が整えられており、教育内容は充実している。</p> <p>防災訓練の際、消防に立ち会ってもらい総評をいただいている。全校生徒が一度に防災訓練をしている事は防災について意識が高い。オリエンテーションの際も消防署長から講話を頂いている。</p> <p>全校生徒の本校からの距離を把握し、距離に応じた行動計画を策定した。教室には災害マニュアル、ヘルメット、メガホン、笛を常備。</p> <p>学生に対して災害時に使用できる防災対策用品セットを配布している。</p>		
--	--	--

基準7 学生の募集と受入れ

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>高等学校への情報提供は、進学相談会への参加、また高等学校教員には個別訪問を積極的に行っている。学生募集に関しては、適切に行っており、学校案内やパンフレット・ホームページには特色を分かり易く標記している。また、体験入学や入試説明会を月2回以上行っている。</p> <p>入学選考基準は、規定で明確に定めている。選考や合否判定は適切に行っている。入学選考の実績に関しては、インフォクラウドで管理し、学力に応じた指導を入学後行っている。</p> <p>学生の能力及び経済力を考慮した学納金を算定している。</p> <p>徴収金額はすべて明示している。</p> <p>入学辞退者に対し、授業料等の返還は学則・募集要項で明示している。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	

基準8 財務

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>財務基盤については、応募者数等の数字の把握は毎年行っており、収支のバランスはとれている。学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しており、資金収支超過額及び消費収支超過額はプラスとなっている。しかし、積極的な設備投資を行った結果、学園全体の消費収支超過額についてはマイナスとなっている。</p> <p>法人運営に係る財務分析は行っており、教育研究費比率、人件費比率については、適切な数値になっている。資金収支やコスト管理については部門ごとに月次で適切に行っている。</p> <p>教育目標との整合を図って予算編成を策定している。編成過程及び決定過程は明確になっている。</p> <p>予算の執行計画を策定し、乖離しないよう適切に補正措置を行っている。</p> <p>予算執行にあたってのチェック体制は学園本部で行っており、適切な会計処理を行っている。</p> <p>監査は私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に実施し、理事会等で報告している。</p> <p>更に監査法人による監査を年2回実施している。</p> <p>財務情報においては、平成26年度より本校のホームページにおいて公開している。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>来年度もプラスで推移できるよう、学生募集等を計画どおり行う。</p>

基準9 法令順守

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>関係法令等を遵守し、適切に学校運営を行っている。また、必要な諸規定を整備している。</p> <p>個人情報保護に関する規程や、情報機器使用についての規定は整備している。</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>マイナンバーの実施に向けたセキュリティ対策を行う。</p> <p>個人情報保護規定に基づく校内システムの構築</p>

<p>今後、マイナンバーに伴うセキュリティの強化を必要があり、個人情報管理に関する啓発及び教育を引き続き行う必要がある。</p> <p>自己点検・自己評価は組織的に、毎年度行なっており、今年度は自己点検評価報告書を作成し、学校関係者評価委員会を行いその結果をホームページに公表した。</p> <p>学校の概要、教育内容、教職員等教育情報については、平成26年度よりホームページにて公開した。</p>		<p>を推進していく。</p>
---	--	-----------------

基準10 社会貢献・地域貢献

自己評価	学校関係者評価	改善方策
<p>開校当時から社会貢献やボランティア活動に対して意識が高く、新宿区で毎月行われている「ポイ捨てキャンペーン」には、当初から欠かさず参加している。</p> <p>充実した施設・設備をステューデントサロンを通して地域の方にも積極的に開放することで、地域とのコミュニケーションも生まれ、社会貢献に繋がっている。</p> <p>教職員の声ばかりでなく学生自身からも提案があり、「エコキャップ活動」も行っている</p>	<p>適切に対応している。今後も更なる向上に努めて頂きたい。</p>	<p>本校のボランティア活動として以下のものを取り組んでいる。今後も地域と社会貢献に繋がるものを進めていく予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本盲導犬協会募金 ・都立松澤病院ボランティア活動（ハンドマッサージ、ネイルなど） ・新宿区ポイ捨てキャンペーン ・エコキャップ活動 ・新宿区役所への清掃道具等寄贈。 ・昨年に引き続きアークⅢ（非常食）100食分を山吹の里（特別養護老人ホーム）に寄付